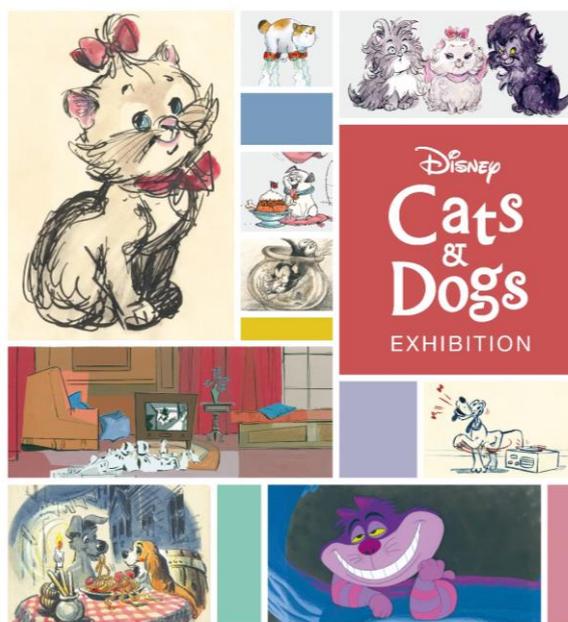


ディズニーの名作"犬と猫"をテーマにした本格的な展覧会 ディズニー キャッツ&ドッグス展 松屋銀座にて開催決定

2021年12月1日(水)～12月25日(土)

ディズニー作品の永遠のテーマのひとつ"動物"の中でも、人間に一番近い家族のような存在である"犬と猫"をテーマに、ディズニーの動物作品の魅力に迫る本格的な展覧会、「ディズニー キャッツ&ドッグス展」を2021年12月1日(水)から12月25日(土)まで、松屋銀座8階イベントスクエアにて開催いたします。



ディズニーは映画『バンビ』を機に、“動物をリアルに描きながら感情豊かに表現する”という難題に挑みました。スタジオで動物を飼い、骨格や筋肉の動きを研究し、リアリティを徹底的に追及しました。ストーリーを通じて観客が感情移入する表情豊かなキャラクターを描き出すことに成功し、生涯数多くの動物作品をプロデュースしました。会場ではディズニーによる動物アニメーションの進化と革新や、動物を感情豊かに表現するための試行錯誤の歴史も紹介します。ミッキーの相棒「プルート」や『101匹わんちゃん』、『わんわん物語』、『おしゃれキャット』などの代表的な作品から、ディズニー作品の中でも印象深い犬猫キャラクターを紹介する展示まで、まるでディズニー作品の中にいるような、ワクワクする展示内容となっています。

本展覧会は、ディズニー全てのアニメーション作品に関連する、あらゆる資料を所蔵、デジタル化し、アーカイブしているアニメーション・リサーチ・ライブラリー（以下 ARL）の全面協力を得て、デジタル化された貴重なアート作品を300点以上展示します。パステルや水彩などの原画は、傷みやすく外に出すことを控えていますが、デジタルであるため通常ではなかなか観ることができない作品が、数多く出品されます。また、小さく繊細な作品をデジタルによって原画より大きく出力再現することで、作品の細部までご覧頂けるなど、デジタル化されたアート作品ならではの魅力も本展覧会の見どころのひとつです。

ウォルト・ディズニーは大の犬好きとして知られ、幼い頃から晩年まで家族同様に犬と過ごしてきました。皆様にとっても身近な存在である"犬と猫"をテーマにした本展覧会では、作品で描かれたキャラクターのしぐさや表情に深い愛情と親しみを感じて頂けます。お散歩気分で「ディズニー キャッツ&ドッグス展」をお楽しみください。

■開催概要

名称：ディズニー キャッツ&ドッグス展

主催：ディズニー キャッツ&ドッグス展実行委員会

特別協力：ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社

協賛：ディズニー★JCBカード

期間：2021年12月1日(水)～12月25日(土)

会場：松屋銀座 8階 イベントスクエア

所在地：東京都中央区銀座 3-6-1

入場料：一般 1,100円(900円)、高校生 900円(700円)、小中学生 500円(400円)

※未就学児は無料

※()内は前売料金。

前売券はローソンチケットにて10月中旬～11月30日(火)まで販売予定。

問い合わせ：松屋銀座 03-3567-1211(大代表)

松屋銀座 コンテンツ事業部 コンテンツ事業課



※最終日は午後5時閉場。入場は閉場の30分前までとなります。

※営業日・開場時間は変更になる場合がございます。

※混雑時は、お待ちいただく場合や整理券を配布する場合があります。

※展示内容は変更する場合がございます。

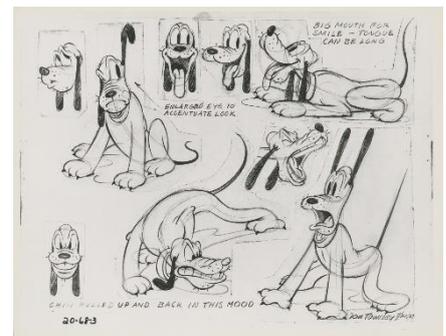
■作品の見所について

ミッキーの相棒「プルート」ではディズニー初期のギャグ・アニメーションの楽しさを、『わんわん物語』ではレディとトランプのロマンスを、『101匹わんちゃん』ではクルエラの魔の手が迫るスリリングな脱出劇を、そして『おしゃれキャット』ではパリの街並みの美しさと子猫マリーの可愛さを是非ご覧ください。さらに、ディズニー作品の中でも印象深い犬猫キャラクターを紹介する展示も見逃せません。

「プルート」

ミッキーの相棒プルート

プルートはミッキーの仲間たちの中では、唯一言葉を話さないキャラクターです。だからこそ表情の豊かさと体全体を使った大きなアクションで、いつも私たちを楽しませてくれます。とても無邪気で人懐っこい性格のプルートは、ウォルトが幼少期から一緒に過ごした犬たちへの愛情が込められているキャラクターといえるでしょう。



『わんわん物語』

アニメ史に輝く名場面の制作秘話

レディとトランプが恋に落ちる重要なシーンですが、当初上手くいくかどうか誰も自信を持ってませんでした。トニーの店の裏口で2匹の犬がスパゲティをフォークも使わず直接頬張るシーンが果たしてロマンティックになるのか？2匹にとって大切な夜であり、決して茶番劇やギャグになってはいけません。ディズニーのアニメーターはその難題に挑みます。みなさんご存じの通り、誠実に繊細な描写によって名曲「ベラノッテ」とともにアニメーションの歴史に残る名シーンとして観客の心に響いたのです。



『101匹わんちゃん』

101匹がスクリーンいっぱいに駆け回る

ロンドンを舞台にテレビやクルマが登場する現代劇に加え、なんと101匹のダルメシアンがスクリーンを走り回るディズニーの意欲作です。101匹の白と黒の斑があるダルメシアンをアニメーションさせるために採用したのが、ゼロックス・プロセスでした。アニメーターの手描きの原画を手作業で手間をかけてトレースすることなく直接セルに転写することで、生き生きとした原画をそのままに、セルを量産化することに成功したのです。



『おしゃれキャット』

3匹の子ネコ

長男のトゥールーズは画家志望、名前は画家トゥールーズ・ロートレックから、次男のベルリオズは音楽家志望、名前は作曲家ルイ・エクトル・ベルリオズから、そして末の妹のマリーは歌手志望、あのマリー・アントワネットに由来しています。



■ご掲載に関するお願い

- ・本プレスリリースの画像をご希望の場合は、本件広報事務局（株式会社フルハウス内 浅川・駒田）までご連絡ください。
- ・ご掲載に際しては原稿の確認をさせていただきますようお願い致します。
- ・下記のクレジットを表記ください。

©Disney

【報道関係者からの問合せ先】

本件広報事務局（株式会社フルハウス内 担当：浅川・駒田）

TEL：03-5413-0293／090-6704-1367 Mail：m.asakawa@fullhouse.jp（浅川）